

第71回三重県学校歯科衛生大会

日 時 令和4年8月18日(木)午後1時30分～午後3時20分

★研修内容の詳細は裏面をご覧ください★

歯科衛生士会員はこちらでお申し込みください！！

三衛会で取りまとめをして三重県歯科医師会に申込みをします。

第5次生涯研修の受講単位を取得希望の方は、必ず三衛会にお申し込みください。

三重県歯科医師会に直接申込みをされた方は、受講単位が取得出来兼ねますことをご了承ください。

歯科衛生士会員専用 URL <https://forms.gle/kQMVVSc4XHWGdqg6>

<QRコード>

申込み締切り: 令和4年7月22日(金)



研修会の視聴方法等の詳細は、登録されたメールアドレスに

三重県歯科医師会より8月上旬ご連絡があります。

三重県歯科衛生士会事務局
E-mail mie-dh@infoseek.jp

日 時 令和 4 年 8 月 18 日 (木) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 20 分

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Web 受講にご協力をお願いいたします。

会 場 ◎Web 受講 (自宅等) ※Zoom ウェビナーを使用

登録されたメールアドレス宛、8 月上旬に、大会の 視聴方法等の詳細をご連絡いたします

◎会場受講 (三重県歯科医師会館：津市桜橋 2 丁目 120-2) <定員：100 名>

感染防止対策に努めて開催いたしますが、受付時の検温や館内でのマスクのご着用、手指消毒等にご協力をお願いいたします。また、申込多数の場合はお断りする可能性がありますので、予めご了承くださいますようお願いいたします。

演 題 「コロナ禍が子どもの歯と口の健康に及ぼす影響」

講 師 広島大学名誉教授 香西 克之 先生

主 催 三重県歯科医師会・三重県教育委員会

※感染症の流行や悪天候等により、やむなく中止となる場合は、当日の午前9時までに三重県歯科医師会ホームページに掲載します

【講演内容】

コロナ禍が子どもの歯と口の健康に及ぼす影響

広島大学名誉教授 香西 克之 先生

地球規模で拡大した新型コロナウイルス感染症は医学の進歩をあざ笑うかのように人類に多大な被害をいまもお与えています。この中で最も影響を受けるのは弱者である子ども、有病者および高齢者です。学校歯科保健においてもコロナ禍で活動が制限され、児童の歯や口の健康になんらかの影響が及んでいることが危惧されます。本講演では新型コロナウイルス感染症が小児の口腔に及ぼす直接的あるいは間接的な影響について考えてみます。

コロナ禍が長期間になり、齲蝕(うしょく、う歯、むし歯)と歯肉炎が増加することが予測されています。自宅での家庭生活が長くなると食習慣が不規則になり、甜食や夜食、炭酸飲料などの過剰摂取、不十分な歯口清掃など齲蝕や歯肉炎の原因や背景となる増悪ファクターが増大するためです。さらにコロナ禍による外出制限や家庭の経済的貧困が歯科医療機関への受診を遅らせ、重症化や多発をもたらします。また、長期のマスク着用が口腔機能に悪影響を及ぼすとも言及されています。口呼吸を誘発しやすく、不正咬合や齲蝕、歯肉炎の原因にもなります。また対面による口の動きや発語も制限されるため言語発達の遅れも指摘されています。このように、Covid-19 のパンデミックは子どもの口腔疾患の誘発、食機能や発音機能の発達の遅れなどにも影響しているといえます。

今後ポストコロナでの歯科医療や学校歯科保健の活動が、子どもにとってストレスフリーになるよう多領域が連携することが課題となります。

【講師紹介】 香西 克之 (こうざい かつゆき)

【略 歴】	昭和 56 (1981) 年	広島大学歯学部卒業
	昭和 60 (1985) 年	広島大学大学院歯学研究科修了 (歯学博士) 広島大学 助手 (小児歯科学)
	昭和 61 (1986) 年	日本鋼管福山病院小児歯科
	昭和 64 (1989) 年	広島大学歯学部附属病院 病院講師 (小児歯科) トロント大学留学 (1 年間)
	平成 13 (2001) 年	広島大学歯学部小児歯科学講座 教授 (現 大学院医系科学研究科小児歯科学)
	平成 28 (2016) 年	広島大学歯学部歯学科長、歯学部長補佐を歴任 広島大学病院副病院長 (歯科教育、研修担当) ~2021
	令和 3 (2021) 年	広島大学定年退職
	現在	広島大学名誉教授および歯学部客員教授